

今秋までに
総選挙

掛川から 市民と野党の協力広げ

政権交代＝野党連合政権を

歪んだ自公政治サヨナラを

日本共産党	比べてみると…	自民党・公明党
<p>リバウンド、変種ウイルスが心配ーコロナ封じ込めのために、十分な保障とセットで検査体制の確立を提案し、政府に要請しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ワクチン接種と同時並行で PCR 検査をもっと大規模に ■医療・保健所への支援の抜本的強化を ■自粛要請と一体に十分な補償と支援を (持続化給付金・家賃補助の再給付) ■消費税は5%に引き下げを 	<p>コロナ対策</p>	<p>GOTO トラベルで感染拡大を招くなど、「後手」「戦略なし」「逆行」で科学的見地がありません。さらに今国会では、コロナ危機の教訓を無視し、重大な医療破壊を狙っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高齢者医療費2倍化法案＝75歳以上、1割負担を2割に ■病床削減推進法案＝公的病院の統廃合、病床削減させる。その財源は消費税増税分を予定。
<p>「しんぶん赤旗」でスクープ (JCJ大賞受賞)、国会で追求の先頭にたてるのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ■企業・団体献金、政党助成金受け取らない清潔な党だから 	<p>会食・接待</p>	<p>菅首相の長男が勤める「東北新社」の総務省幹部への接待攻勢、NTT から政治家への接待攻勢。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■モリカケ・桜疑惑…政治を歪める忖度、私物化は止まらず
<p>原発はひとたび事故が起これば取り返しのつかない被害と汚染をもたらします。高コスト電源であり、まともな避難計画もありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■原発ゼロの日本・再生可能エネルギーへ政治転換を 野党と共同で法案提出 	<p>原発</p>	<p>福島原発事故から10年経過。いまだ収束の見通しは立ちませんが…</p> <ul style="list-style-type: none"> ■原発をベースロード電源と位置づけ、原発再稼働を推進 ■原発開発・推進へ「立地特措法」で10年延長狙う
<p>大井川の水は流域62万人の水道水、農業・工業用水としての「命の水」、南アルプスは世界自然遺産に登録された「県民の宝」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■リニアと「水資源確保・環境保全」との両立は不可能! 見直し・中止の決断を 	<p>リニア</p>	<p>政府のスーパーメガリージョン構想 (東京・名古屋・大阪をリニアで結ぶ巨大経済圏をつくる) は、大都市への一極集中、地方切り捨てをすすめる、コロナ危機のもとでは時代遅れに。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■JR東海に公的資金 (財政投融资) 3兆円を投入・推進



掛川市議選

告示 4月11日 / 投票 18日

菅自公政権への怒り、政治を変えたい思いを

日本共産党2議席躍進で



市議会議員
勝川しほこ

東・北・栄川中学校区、旧大東・大須賀町



市議会議員予定候補者
党市政策委員長
大井正

主な活動地域
桜が丘・原野谷・西中学校